



縄文遺跡群

世界文化遺産登録3周年 支援者と交流も

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録3周年を記念したイベントが、7月に札幌市で開催されました。ご家族連れなど多くの方がお越しになり、「北の縄文」への関心の高さを感じました。終了後には、お集まりいたった皆さまと鈴木知事が交流する場面もあり、笑顔をいっぱいいただきました!

まめちゃん日記 by キュンちゃん

北海道の観光PRキャラクター「キュンちゃん」のデザインを手掛けている絵本作家のSORAさん。インスタでまめちゃんのファンになったことから、キュンちゃんとまめちゃんのオリジナルイラストを鈴木知事にプレゼントしてくれました。

インスタでは早速、まめちゃんとキュンちゃんのかわいいコラボ動画を発信。ストーリー仕立てのお話にインスタでもたくさんコメントをいただきました。ぜひご覧ください!

活力あふれる北海道の未来を実現する会 似鳥 昭雄会長



鈴木直道レポート 10号
〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和6年8月発行

鈴木直道 Report Vol. 10

2024 AUTUMN

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 10号

世界に挑む 北海道

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。地球温暖化、エネルギー問題、食料安定供給など世界はいま多くの課題に直面しています。また、北海道でも人口減少や少子高齢化が進み、地域の担い手不足が深刻化しています。

「北海道は課題の先進地。だからこそ、できることがある」。これは私の搖るがぬ信念です。北海道の持つポテンシャルを活かしながら、国内外の新たな需要を取り込み、持続的発展につなげる。こうした北海道の取り組みが、日本のみならず、世界におけるさまざまな課題解決に活かされる。私はそう信じています。

いまこそ「北海道から世界へ」という大きな視点に立ち、道民の皆さんと共に歩みながら、北海道の確かな未来づくりに向け、きらなる挑戦を続けてまいります。

プロフィール／1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に就任

政策紹介 GX特区 北海道を再エネ供給地域へ

北海道と札幌市は6月、「GX金融・資産運用特区」に指定されました。国内外の金融・資産運用会社を呼び込み、今後10年で150兆円が見込まれる脱炭素化に向けた投資マネーを取り込むのが狙い。GX(グリーン・トランジション)の関連産業の集積やスタートアップの創出・育成が期待されます。特区の効果を全道に波及させ、北海道が日本の再エネ供給地域となり、さらには世界中からGXに関する資金、人材、情報が集まるアジア・世界の「金融センター」の実現に向け、取り組みを進めています。



地域探訪

鈴木直道の179市町村、おじゃまします!



地域での取り組みについて直接お話をうかがう「スクラムトーク」「おみちカフェ」などを通じ、鈴木知事は道内各地を訪問しています。
北海道は2023年度の「地域おこし協力隊」が1084人と初めて1千人を突破し、全国1位(2位長野県461人)。
隊員をはじめ、各地で活躍する皆さまのもとにおうかがいします!

オホーツク

町のにぎわいと防災を両立

4月に大空町、網走市、小清水町、清里町、斜里町を訪ねました。小清水町では、町の防災拠点型複合庁舎を視察。カフェやコインランドリーを併設し、町のにぎわいを創出しながら、災害時には炊き出し場所として活用するなど、安心安全づくりの取り組みについて学びました。



宗谷

自然と調和した酪農経営

6月に利尻富士町、稚内市、幌延町、豊富町を訪問。豊富町ではご家族で酪農を営む牧場を視察。省力機械の導入による規模の拡大と労働者負担軽減の両立や、地域の担い手確保のための実習生受け入れ、自然との調和を重視する酪農経営についてお話をうかがいました。



国内 北海道の魅力をとことん発信

6月に千葉県で開催された日本最大規模のインターネットテクノロジーイベント「Interop Tokyo」で講演。「北海道と一緒に挑戦を!」と参加者に呼びかけました。

また、7月には埼玉県の国内最大規模のショッピングモールで道産品や観光をピアールしたほか、東京・有楽町の「どさんこプラザ」も訪れました。



私たち 鈴木直道を応援します!

全道各地の後援会を訪問し、地域の支援者との交流を楽しみにしていました。6月には「実現する会」の役員が顔を合わせ、定期総会を開催。7月には工藤幸博会長のもと、檜山管内後援会も立ち上りました。

今後も全道各地でお支えいただく皆さまとの懇談を重ねていきます。



各地の
後援会長から
一言!

俱知安後援会 鈴木 保昭会長

後志

地域に愛される学校づくり

5月に俱知安町、蘭越町、真狩村、京極町におじゃました。農業や食にこだわった教育に力を入れる真狩高校では、生徒の皆さんとスイーツづくりに挑戦。同校の取組みが、地域の特色を活かしつつ、地域の活力につながっていることを実感しました。



檜山

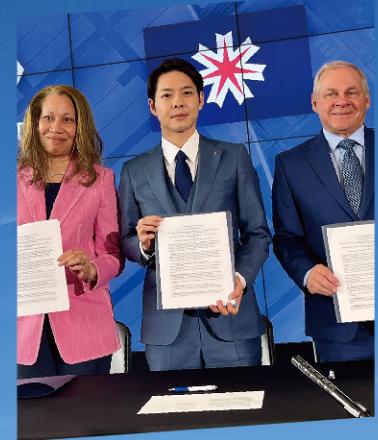
地熱発電でゼロカーボンへ

7月は奥尻町、厚沢部町、乙部町、江差町、上ノ国町に来ました。奥尻町では、豊富な地熱資源を活用して地熱発電で島全体を脱炭素化していく取り組みや、奥尻高校に道内外から集う「離島留学」の留学生の皆さんが、主体的に寮生活を運営している様子も拝見しました。



海外 次世代半導体、NYと連携加速

8月にニューヨーク州を訪問しました。次世代半導体の製造でラピダス社に技術協力をするIBM社の研究所を視察。また、産官学による半導体産業拠点を運営するNYクリエイツ、州政府、北海道との3者で連携協定を締結したほか、地元レンセラー工科大と北海道大との間で人材育成などの連携協力も確認しました。北海道とNYの連携が加速します。



ラピダス新拠点 パイロットライン来年稼働へ

次世代半導体の開発、量産をめざすラピダス社の新プロジェクト。来年春のパイロットライン稼働に向け、鈴木知事も4月に建設現場を訪れ、進捗状況を確認しました。昨年9月の起工式から約半年の短い工期で、新拠点の外観も姿を現してきました。国からの支援総額が1兆円に迫る国家プロジェクトの成功に向け、今後も着実な取り組みを進めてまいります。

